

はさみの練習も兼ねて遊べる教材(3歳児) ～ ピザとカニ ～

幼児がはさみを初めて使うとき、最初から「チョキチョキ」とは使えませんね。まずは細長いテープのようなものを「チョキン」と切り落とすのが簡単そうです。つまり長い線を、はさみを開閉しながら切り進めるのではなく、一度開いたはさみを「チョキン」と閉じることで「切れた～～」と嬉しい声を発してくれます。

幼児には、「切れる」のが楽しいことから、たくさん「チョキン」体験をさせてあげましょう。

さて、私たちの提案は、ここからです。

子どもは最初のうち、「チョキン」「チョキン」と切ることが面白くて、たくさん切ってくれますが、その切った短いテープを何に加工しましょうか。

かつて、本園では、このような活動を行うのが6月ごろだったこともあり、切った色紙を台紙に貼って、「あじさい」を作ることに発展させていました。でも、3歳の幼児にとって「あじさい」は、それほど魅力的な花ではないらしく、壁面に貼ったらそれでおしまいになってしまいます。

作ったものを使って遊べるためには、何がよいだろう。そこで登場したのが写真の**ピザ**です。

ピザを入れる箱は先生が作りました。何枚ものピザができれば、牛乳パックで作ったバイクに乗せてピザ配達ごっこです。



こちらは、**カニ**です。「チョキン」と、はさみを1回入れて、足ができました。



カニの他に**イカ**も作れます。作ったカニやイカは、「魚釣り」に使って遊びました。

すると「釣った魚は焼いて食べる」とばかりに、網で焼く子も！
どうです、いい手つきでしょう？

(文責:白石)